



# しばた議会だより



(柴田町合同出初式)

**守るぞ！  
町民の生命・財産**

- 12月定例議会・本会議議案審議 ..... 2・3
  - ・一般質問（15人） ..... 6～14
- 第3回・第4回臨時議会 ..... 4
- 本会議出欠状況・議案等審議結果 ..... 5
- 常任委員会レポート ..... 15
- あなたの一言（加藤<sup>かとう</sup>るみさん） ..... 16

# 観光着々と

・まちづくり推進センター条例  
・観光施設条例

可決



きれいに咲いてね(花のまち柴田「千人植栽」)

## まちづくり推進センター設置

平成22年第4回定例議会は、12月13日から16日の日程で行われました。今回の議会では、柴田町まちづくり推進センター条例や柴田町観光施設条例などを審議し、原案のとおり可決しました。

まちづくり条例に基づく活動をサポートするために、交流ひろば「ゆる・ぷら」内にまちづくり推進センターを設置することになりました。

### 「ゆる・ぷら」賃貸有料化へ

**質疑** 「ゆる・ぷら」は現在賃貸料を支払っていない。今後どうなるのか。

**答弁** 「ゆる・ぷら」はイオンリテールの配慮で借りている。しかし、今後は有料化されていく予定である。

**質疑** 推進センターが設置されるが、今後イオンとの契約はどうなるか。

**答弁** 今後5年間契約をしていく。

### 町の施設は活用できないのか

**質疑** 駅コミュニティプラザの活用や町の直営施設を利用して、推進センターを設置すべきではないか。

**答弁** イオンタウン内にある方が効果がより発揮されると考えている。

### まちづくり推進センターは1カ所でもいいのか

**質疑** まちづくり推進センターは、提案制度の運用、相談事業などまちづくりを進める町民にとって重要な拠点となっていく。まちづくりの将来においても拠点を「ゆる・

ぷら」1カ所だけと考えるのか。

**答弁** 予算的なこと、人的配置を考慮すると現在は1カ所としている。

住民自治の観点から担い手を育成し、もしNPOができれば、槻木地区や船迫地区に同様のものができればと期待している。

### まちづくりをどのようにサポートしていくのか

**質疑** まちづくり提案制度や住民との交流をどのように進めていくのか。

**答弁** 計画的に企画会議や運営会議を開きながら進めていく。



初の試み 船岡城址公園のイルミネーション

### 職員体制は万全か

**質疑** 正職員不在だと、行う事業、重要な事業への対応がしにくいのではないか。

**答弁** まちづくり政策課の職員が月曜休館日を除く毎日の出勤体制をとる。職員が常勤することで、行政色が強過ぎて、住民の意向が反映されない推進センターではないけない。今後新しい住民との関係を検討していきたい。



まちづくり推進センターがゆる・ぷらに開設



# まちおこしと

## 魅力ある観光のまちづくり

船岡城址公園内に建設中の「柴田町観光物産交流館」と「スロープカー」を観光施設として、一括管理できるようにするため、条例を新たに制定するものです。

### 観光物産交流館の営業日は

**質疑** 条例で決まっている休館日でも、スロープカーの運行や観光物産交流館を営業する場合はあるか。

**答弁** イベントの状況で必ずしも休館になるわけではない。

ではない。催し物に合わせて、開館時間や休館日を変更していく。

スロープカーも年度計画の中でより多くの方に楽しんでいただくように考えたい。

### 観光物産交流館の販売・展示の内容は

**質疑** 観光物産交流館のオープンに伴い、展示や販売など具体的な内容はどうなっているか。

**答弁** 菓子や農産加工品などの地場産品、産直野菜のスペースを確保している。2月ごろまでに観光物産交流館の産直利用組合を設立し対応する。

桜の季節にお目見え(観光物産交流館)

方向性としては、一般的な野菜、花卉と鉢物を常時販売していきたいと考えている。

### 特色ある教育活動を支援する基金を創設

町内小中学校の特色ある教育活動を推進するため、平成23年度より教育活動支援基金を設置して、財政的に支援します。

### 特色ある教育活動に財政的支援

**質疑** 基金の積立額は。

**答弁** 23年度は50万円を予定している。

**質疑** 基金創設にメリットはあるのか。

**答弁** 基金運用に関しては、学校長や教育委員会が自主的に定めることができる。

**質疑** 基金運用はどのようになっているのか。

**答弁** 特色ある活動に関して基金を活用し、必要な場合には一般財源で予算化していく。

## 補正予算

# 観光整備費に376万円増額

一般会計補正予算は、花のまち柴田推進事業、道路新設改良事業など総額7,487万円の増額補正となり、原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算の主なもの	
紅葉の森形成事業委託費	440万円
観光整備費	376万円
道路新設改良費	5,548万円
槻木小学校大規模改造工事 実施設計業務委託費	231万円

### 船岡城址公園の老朽化施設解体

**質疑** 船岡城址公園内のどの施設を解体するのか。

**答弁** 三の丸北側にある峠の茶屋を解体。さらにベンチや看板など老朽化した施設を解体する。

### 柴田球場照明を修繕

**質疑** 柴田球場の修繕費の詳しい内容は。

**答弁** 今年度3塁側照明を整備したので、今回は1塁側照明を修繕する。さらに身障者用トイレも修繕する。

## 意見書を可決

### OTPP交渉への慎重な対応を求める意見書

提出者 大坂 三男 議員  
賛成者 星 吉郎 議員  
賛成者 高橋たい子 議員  
賛成者 広沢 真 議員

第4回  
臨時議会

# 職員給与 7万5,000円減額

1人平均年間

## 町長・議員も減額

第4回臨時議会が平成22年11月29日に開催され、平成22年8月の人事院勧告に基づく町職員の給与条例、町長等の給与条例の改正議案が提案され、原案のとおり可決しました。

また、議員提案で議員報酬の減額も提案され、可決しました。

### 職員給与と条例の改正を可決

#### どれくらいの減額となるのか

**質疑** 人事院勧告による職員給与の年間平均削減額はいくらか。

**答弁** 期末・勤勉手当等を含めて1人約7万5千円の減額となる。

#### 給与削減の影響は

**質疑** 今の経済状況での給与削減は、学齢期の子どもを持つ職員にどのような影響があると考えているか。

**答弁** 厳しい経済情勢の中で本当に痛みを持っている人たちを思いやりながら、与えられた環境の中で、一生懸命働くこと

### 民間と公務員を比べるべきではない

が、公務員の置かれている立場と感じている。

#### 民間と公務員を比べるべきではない

**質疑** 人事院勧告を受け公務員と民間が競争する形で、給料の引き下げが続いている。12年間で公務員給料平均70万9千円・民間61万円と大幅に減少していることは、民間と公務員間の差を対立に使い悪循環に陥つたものであり、町は現状の認識を改める必要があると考えるがどうか。

**答弁** 認識を改めるか改めないかの問題ではない。町民あつての公務員であり、民間が下がっているのに公務員だけ上げるといふ人事院勧告は出ない。ただ、人件費削減を続けていけば弱いところにしわ寄せがいつか、世の中

が変になるという認識は持っている。悩みながらも人事院勧告に従うこととした。

### 討論

町職員の給与改正について討論がありました。

### 反対討論

#### 広沢 真議員

不況が続いている中、公務員給与引き下げを求め人事院の勧告は大いに疑問を感じる。公と民が対立するような賃下げの悪循環から抜け出し、公務員給与引き下げではなく民間の賃上げが必要だ。

### 給与・報酬改正による減額

職員	平均月例給 0.1%減給 期末・勤勉手当 0.2月分減額
町長	給料月額 2,000円減額、 減額後 909,000円
副町長	給料月額 2,000円減額、 減額後 704,000円
教育長	給料月額 2,000円減額、 減額後 596,000円
議員報酬	報酬月額 1,000円減額、 減額後 314,000円

※町長等・議会議員は期末手当0.15月分減額

第3回  
臨時議会

船中体育館建替工事請負契約 屋根勾配変更などで

1,138万2,000円の増額

第3回臨時議会が平成22年10月28日に開催され、船岡中学校屋内運動場改築工事請負変更契約議案を審議した結果、原案のとおり可決しました。

**質疑** 屋根の勾配変更の理由は、

**答弁** 雨漏り防止のためには、5%より10%の方が安全という住宅建築センターの指導があり変更した。

**質疑** 設計時点から住宅建築センターのアドバイスを受けていれば、このような変更は発生しなかったのではないかと。設計段階では受けていなかった。

**質疑** 当初から変更を見込んでいたのではないかと。

**答弁** 最初から見込んでいたわけではない。

**質疑** 途中での変更がないようにできないか。

**答弁** 工事段階でいろいろな不都合が生じる場合があり、難しい。

# 本会議出欠状況・議案等審議結果

## ●本会議出欠状況

区分	内容	月日	出席者数(人)	出欠状況																
				平間奈緒美	佐々木裕子	佐久間光洋	高橋たい子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	森淑子	大坂三男	舟山彰	佐藤輝雄	星吉郎	加藤克明	大沼惇義	白内恵美子
(平成22年) 第3回臨時会	本会議	契約・補正予算	10/28	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4回臨時会	本会議	条例	11/29	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4回定例会	本会議	町政報告等・一般質問	12/13	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	12/14	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	12/15	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		条例・補正予算	12/16	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

## ●議案等審議結果

区分	件名	議決月日	賛成(人)	賛成(人)	議決結果	表決状況															
						平間奈緒美	佐々木裕子	佐久間光洋	高橋たい子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	森淑子	大坂三男	舟山彰	佐藤輝雄	星吉郎	加藤克明	大沼惇義
(平成22年) 第3回臨時会	平成21年度船岡中学校屋内運動場改築工事(建築工事)(繰越明計) 請負変更契約について	10/28	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度柴田町一般会計補正予算	10/28	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第4回臨時会	柴田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	11/29	17	15	原案可決	○	○	○	○	○	○	否	○	○	否	○	○	○	○	○	
	柴田町長等の給与及び旅費支給条例等の一部を改正する条例	11/29	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	11/29	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第4回定例会	町道路線の変更について	12/16	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町道路線の認定について	12/16	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	柴田町まちづくり推進センター条例	12/16	17	15	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否	否	○	○	○	
	柴田町特色のある教育活動支援基金条例	12/16	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	柴田町観光施設条例	12/16	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度柴田町一般会計補正予算	12/16	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算	12/16	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度柴田町老人保健特別会計補正予算	12/16	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算	12/16	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度柴田町介護保険特別会計補正予算	12/16	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算	12/16	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度柴田町水道事業会計補正予算	12/16	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
TPP交渉への慎重な対応を求める意見書	12/16	17	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否	○		

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。

※「議」は表決時に議長のため、また「-」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表す。

# 一般質問

ズバリ



あなたにかわって

## ここが聞きたい

Q & A



一般質問は12月13日から15日までの3日間で行われ、15人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。答弁者は、滝口町長、平間副町長、阿部教育長及び各担当課長等です。



平間奈緒美 議員

### Q 町道船岡東 43 号線の整備計画は

A 実施計画を立て  
新年度で検討していく



整備の要望が多い町道船岡東 43 号線

**問** 新栄通線道路につながる周辺道路整備は現在進行中である。しかし、町道船岡東43号線は通学路になっていないが未整備のため、早急に用水路の整備をしてほしいとの要望が多い。現在利用しているまちづくり交付金を継続して整備することはできないか。

**答** 計画路線の一部延長のための変更を行い、さらに平成22年3月には町道船岡東47、49号線の路線を追加するなど、すでに2度整備計画を変更している。事業期間は5カ年で、最終年度になる平成23年度を期限として進めているため、継続活用は困難である。

**問** 新栄通線を含め、これから町内の道路整備や補修などの道路整備計画をどう考えているか。

**答** 新栄通線周辺については、町道船岡東43、44、45号線の約600mが残されており、早急な整備が必要と考えている。新栄地区に限らず、町内各地の道路整備補修計画を作成して、計画的に取り組んでいく。

**問** 町道船岡東43号線の整備計画はあるのか。

**答** 通学路となっているので早く年次計画を立て、限りある予算の中ではあるが、子どもたちが安心して通れるような、心温かい都市建設行政を進めていきたい。

# 一 般 質 問



大坂三男 議員

**Q** 平成22年度予算の執行状況と23年度予算の編成方針は

**A** 国の経済対策事業の活用を推進し、町の発展と安心に力を入れる



平成23年度から建てかえが始まる榎木中学校

**問** 11月に国の補正予算が成立した。町の対応は。  
**答** ①雇用事業で9人の雇用を計画。②道路事業では町道富沢16号線ほか3路線の改修工事を計画。③小中学校の整備事業としては榎木中学校の改築事業、榎木小学校の大規模改修事業など4件の事業申請を行った。④約3千600万円の臨時交付金の使途を検討中。

**問** 「公共投資臨時交付金」事業の進捗状況と今後の計画は。  
**答** 平成23年度からの3カ年にわたり総事業費18億円で実施の予定。1期目として仮校舎建設と旧校舎解体、2期目は新校舎の建設、3期目はグラウンド整備などを予定しており、国の補助事業対象になるよう働きかけている。

**問** 今後、町が財政規律を保ちながらも必要なサービスを維持していくためには、毎年の公債費（借金返済額）と基金（貯金）残高をどの程度にすることが適当と考えるか。  
**答** 公債費は約14億円が限度。基金残高は標準財政規模の10%の7億円程度が適正水準と考える。



舟山 彰 議員

**Q** あの質問の結果はどうなったか

**A** 鋭意努力している



バリアフリーに配慮された交差点(新栄通線)

**問** 「町内のバリアフリーのチェックを。町内の段差解消計画の実施はいかに」。実情はどうなっているか。  
**答** 側溝改修に合わせて

河北新報に「変えよう地方議会」というシリーズが掲載されている。その中に、過去に質問した結果がどうなっているか「追跡質問」を実施している議会がある。これまでも私が過去に質問した項目についてのその後を問う。  
**問** 「船岡中学校周辺の防犯灯整備と町全体の整備計画は」。今の実情は。  
**答** 今後、町の地域医療再生計画に基づき、みやぎ県南中核病院と小児医療体制を含めた緊急医療体制の機能の向上が図られるものと考えている。

**問** 「急病の子どもが安心して受診できるように」。現在の小児医療体制はいかに。  
**答** 電力柱の有無などの関係もあり十分とは言えないが、船岡中学校周辺の町道交差点などに設置した。町全体としては年間約30灯増設している。  
**問** 「新栄通線への信号機設置を早急に」。警察への要望は強く行われているのか。  
**答** 大橋通線と新栄通線との交差点への信号機設置は、周辺の信号機との間隔が短いことから、四方を一時停止する規制となっている。



高橋たい子 議員

**Q** 環太平洋連携協定 (TPP) に対する 柴田町の対応は

**A** 参加反対運動を 支援していく



各地に広がる反対運動 (JA みやぎ仙南本店)

**問** TPPはこれからの日本の命運を左右する重大な問題と考える。我が国の農政は、農畜産物の輸入自由化阻止を柱に、各種国際会議の中で日本農業を守る闘いを展開してきた。突然TPP参加の協議を始めるのは驚きの一語に尽きる。めざましい発展の中で、第1次産業の果たしている役割は決して軽んじられないものではない。

**答** 業・経済などへの影響は避けられないものとして、その事前対策に着手しているのか。地方自治体や農政関係機関と現場の声を一切聞かないで、唐突に参加に前向きな姿勢を示したことは強い懸念を表明する。TPP参加決定をしていない中で、町独自の事前対策を講じることはできないが、宮城県町村会でTPPに関する特別決議を行い、県選出の国会議員に広い国民の理解と

合意が得られるまで、十分な時間をかけ検討するよう要請したのを初め、全国町村長大会でも参加反対を決議した。今後各関係機関と連携しながら農家が安心、安定した農業経営ができ、食の安全と農業自給率向上のためTPP参加反対運動を支援していく。

**問** 町の総合計画8年の中で、前期基本計画4年の場合と後期を含めた8年の計画では、取り組み方が変わるのではないかと。前期基本計画の中で、観光地としてのグレードを高めるための第1ステージとして船岡城址公園園路、樅の木周辺、原田甲斐や柴田家供養碑周辺、桜連絡橋を整備する。第2ステージの事業化はこれらの整備による観光客の入込動向を見て改めて計画し、議会と相談す

**Q** 花咲山構想と タウンセールスとの 整合性は



佐々木 守 議員

**A** 花のまち柴田としての地域ブランド戦略を、タウンセールスを通して展開する

**答** 花咲山構想とタウンセールスとの整合性は。町を活性化するための方策として交流人口を増やしていくことは、地域経済の活性化にもつながり、これからは観光まちづくりが必要不可欠な政策と考える。地域活性化策として観光振興に力を入れ、柴田町が持つ地域資源である桜と船岡城址公園や白石川にさらなる磨きをかけて、花のまち柴田として全国にア



花咲山構想の拠点 船岡城址公園

**問** 客に来てもらうには自然だけでは無理で、総合的な手段が必要ではないか。

**答** ピールする地域ブランド戦略を、タウンセールスを通して展開していきたく。客に来てもらうには自然だけでは無理で、総合的な手段が必要ではない。

**問** 観光客のニーズをしっかりとつかむことが観光戦略の基本で、観光客が望むものをしっかりと把握し提供するといったマーケティング手法に学び、新しい魅力を常につくり出していくことが必要だと考える。





白内恵美子 議員

**Q** しばたの郷土館を解放し  
使用料を無料に

**A** 思源閣は無料、他の部屋は有料のままとする



みんなに活用してほしいしばたの郷土館

**問** 思源閣では郷土が生んだ彫刻家「小室達展」を開催しているが、入館者はどのくらいか。入館料を無料にし、多くの方に鑑賞していただくべきでは。

**答** 入館者数は11月現在で230人、1日平均9人。今後は無料化を図る。

**問** 子どもたちの感性を磨く上でも、彫刻を庭に展示し手で触れるようにしてはどうか。

**答** 小室達氏の作品は石膏像、木彫、ブロンズ、合

わせて120点ある。ブロンズ像は台座が必要で設置すると移設できない。そこで、思源閣ホワイエに石膏の伊達政宗公騎馬像を展示し、一角を小室達コーナーとしたい。手で触るのは破損の恐れがあり、ご遠慮いただきたい。

**問** ボランティアを募集し、庭の美しい時期に小中学生に如心庵でお茶の体験をさせてはどうか。

**答** 学社連携という観点では良い試みであり、心豊かな体験をさせられる。

教育総務課、生涯学習課で検討してみたい。

**問** 郷土館全体が住民の憩いの場となるよう、如心庵を除くすべての部屋を無料にすべきでは。

**答** 他の教育施設との兼ね合いもあり、現状では無料化の検討は困難。

**問** サークルでも自由に使っていたら、中高生にも開放する、郷土館を開かれた空間とすべきでは。

**答** 現段階では受益者負担でいきたい。

**問** 大沼通線は柴田町の核となる幹線道路として交通量が増え続けており、今後も一層の増加が見込まれている。

この秋の交通安全運動初日には、町道上名生13号線との交差点で痛ましいお年寄りの死亡事故が発生し、信号機の設置等の対策が望まれている。

**答** 大河原警察署管内において最も優先する交差点とし、今年12月には県公安委員会が現場の検証を行っている。引続き関

**Q** 大沼通線・町道上名生13号線  
交差点の信号機はいつ設置されるのか



加藤克明 議員

**A** 来年度設置できるよう県に働きかけを行う

係機関に要望していく。

**問** 新栄通線開通により交通量が非常に増えた。交差点に横断歩道はあるが、通学時間帯には1キロの渋滞となり、渡れない。子どもたちの安全確保は。

**答** 教育委員会としても一日も早い信号機設置を望んでいる。通学時の安全指導を行い、あわせて県への働きかけに努力する。

**問** 来年度に信号機設置はできないか。



1日も早い信号機設置を(大沼通線・町道上名生13号線交差点)

**答** 県公安委員会の検証では、他の場所の渋滞と比べて優先順位は低いとの判断がなされた。行政レベルでは難しい状況なので、来年度に設置できるよう、政治的に働きかけを展開していく。



広 沢 真 議 員

**Q** 求められる自治体の地域おこし支援策

**A** 住宅リフォーム助成制度を検討中

長引く不況下、地域において自治体が仕事をつくりだす意義が大きくなっている。方法の一つは自治体が直接、仕事を発注することであり、備品の購入、公共施設の改修や新築の工事など、町内業者発注の現状はどうなっているか。

**問** 文房具など備品の発注は。

**答** 町内業者への発注率は80%から90%で町内で取り扱いないもの以外は町内に発注している。

**問** 地上波デジタル移行での機器買い替えは。

**答** テレビ193台、ハイビジョンレコーダー30台を町内3業者の一般競争入札で発注している。

**問** 地域の仕事おこしの方法の二つ目は地域の民需掘り起こしだ。全国で住宅リフォーム工事助成制度が広がっている。以前から制度創設を訴えてきたが、今こそ柴田町でも住宅リフォーム助成制度を創設すべきでは。

**答** 住宅リフォーム助成



リフォーム助成制度活用で町も活性化

制度は地域おこしに有効と考える。今後制度設計を行い、1千万円規模で予算をつけたい。

**問** どのような制度内容を考えているか。

**答** 工事総額20万円以上の工事に、定額で10万円の助成を考えている。

**問** 手続きの簡素化は。

**答** 制度をつくっても利用できなければ意味がない。手続きを簡素化し、利用しやすくしたい。

**問** 請願とは、憲法16条において「何人も平穩に請願する権利を有し、請願をしたため差別待遇を受けない」とあり、請願権は国民の権利であるとされている。また、請願は議会で採択か不採択とされるが、請願の法的効力については、何らの法的義務はないものとされている。しかし、請願法第5条で「法律に適合する請願は受理し、誠実に処理しなければならない」との、実現に努めるこ

とを要請している。そこで、道路など過去10年以内の議会採択請願の対応の状況を問う。

**答** 6件8路線が採択されて、2路線が対応済、6路線が未対応。進展しない理由は、財源や土地問題の利害関係から、採択されたが実施には至らなかった。今後も議会で採択された意義を重く受け止め、事業化に向けて着実に対応していく。

**問** 2元代表制の一方として住民意思の決定機関である議会が、採択した請願の処理状況の報告を求めれば、未対応の請願の再検討も可能となると考えるが、町としての対応は。

**答** 総務課で対応している。長期になるものなどまとめていないが、議長に報告はしていない。議会の総意で報告を求められれば、請願の状況についての経過説明はできる。



水 戸 義 裕 議 員

**Q** 請願の議会採択をどう捉えるか

**A** 採択の意義を重く受け止め着実に取り組む



請願に基づき設置されたガードレール(大堀1号橋)



安部俊三 議員

**Q** 社会教育関係施設の充実を求める

**A** 新たな発想での取り組みが必要と認識している



地域をあげてのカルタとり大会(船迫地区子ども会育成会)

**問** 住民自治によるまちづくり基本条例が施行されたが、社会教育関係施設はどのように向き合っていくのか。

**答** まちづくり基本条例の理念に沿いながら、新たな発想での取り組みが必要と認識している。

**問** 「社会教育要覧」にまちづくり基本条例とのかわりに関する記述があるべきと思うが。

**答** 23年度に向けて要覧をつくり直しているが、文言を加えていきたい。

**問** 「ゆる・ぷら」と社会教育関係施設との違いはどういったことか。

**答** 「ゆる・ぷら」の目的は、まちづくりに主体的にかかわる住民の輪を広げていくこと。社会教育関係施設の目的は、住民の教養の向上、生涯学習の振興などである。活動内容が異なっている。

**問** 以前のように6小学校区ごとに独立館を置き、コミュニティの伸展を図る考えはないか。

**答** 行財政改革により現

在の組織に再編した。3学習センターの機能を強化するとともに、それぞれ地区館と連携し、一層充実していく。

**問** 地域性を考慮し、農村環境改善センターに専任職員を配置する考えはないか。

**答** 槻木生涯学習センター所管の地区館として位置づけている。非常勤職員の配置や職員の巡回で役割を果たしていく。

**問** 政府も経済活性化対策としていろいろな交付金事業を進めており、町も交付金事業の中で生活道路、側溝整備をしているが、今後交付金事業がなくなった場合はどのように進めていくのか。

**答** 道路整備に利用できる交付金は、まちづくり交付金や地域活力基盤創造交付金などの制度化された交付金と、臨時的に配分される交付金などがある。平成23年度からは投資的な事業については

一括交付金になる動きがあり、今後交付金事業に該当した場合には積極的に活用していく。交付金制度がなくなった場合でも、必要とされるものについては一般財源で対応する。

**問** 槻木南浦雨水排水のひどさ、側溝の不備が地域の安心安全な生活を脅かしている。稲荷山用水に流すに当たっても、もっと効果的な方法はないのか。

**答** 従来の3倍の能力が

ある四日市場排水機場が稼働したため、稲荷山用水と低地排水がぶつかるところから直接流すか、迂回して流すか、そういう水門をつくれぬか検討している。

排水機場を最大限に利用して、稲荷山用水の水位を下げるのが槻木市街地の生命線であり、今後詳細に詰めていく。



星 吉郎 議員

**Q** 今後、国の交付金事業がなくなったら生活道路、側溝整備はどうなるのか

**A** 必要があれば一般財源で対応する



雨水排水対策を早急に



佐藤輝雄 議員

**Q** 町づくりの事業は公平、平等に

**A** 整備する内容などについて十分協議する



建設中の展望デッキ

**問** 本町の10年待機事業は、平成22年から平成31年まで58件あり、町持ち出し一般財源約49億円で、完了2事業、着手26事業、未着手30事業となっている。

そんな中、議員初めての提案に、恩賞的対応に感じられる事態がある。パークゴルフ場建設、青色防犯灯設置、わんぱく公園設置、西船迫6号公園整備、イルミネーション設置等である。さらに町長のマニフェストが入

ってきている。特に、花咲山構想の進捗率と桜回遊ルート6億円の費用対効果はどうなっているのか。町民の声は聞いているのか。また観光物産交流館建設費はいくらになるか。

**答** パークゴルフ場は426名の要望書があり、建設費用約6千万円、維持費約3千万円、青色防犯灯は試験的設置である。わんぱく公園はワークショップで設営・管理を協議する。西船迫6号公園整備は、子どもたちとウツ

ドチップをつくり簡易遊歩道に活用するなど、伐採を含め約1千500万円強となる。

花咲山構想は、総事業費と進捗率は出していない。桜回廊の連絡橋は、建設の声が多いし、全国に誇れる資源となる。観光客が10万人増加すれば、6億円の経済効果が見込める。

観光物産交流館は、建設費約1億800万円。厨房設備費など追加予定である。

**問** 船岡城址公園へ歩いて登るにはもっと明るさが必要だ。三の丸入口スロープの穴や段差など整備が大切ではないか。

**答** 公園内の街灯は実施計画段階で考え、周りと一緒に検討する。スロープの穴や段差などは早速調査し対処したい。

**問** 公園内ルートはどのような整備を考えるのか。

**答** 観光客の滞在時間や公園利用・散策者の動線に配慮し、コースバリエーションを考え整備す

**Q** 「桜連絡橋」は町の活性化になるのか



佐々木裕子 議員

**A** 新たな魅力で観光客を誘発する

**問** ほかにまねのできない回遊ルート、「桜連絡橋」はどのような形で町の活性化になると考えるか。

**答** 新たな魅力で観光客の流れを変え、公園内外に人を誘発する。観光物産交流館の施設の利用や土産品の販売など、経済的に逸失している利益を確保することで活性化につながる。

**問** 花咲山構想は壮大。実現に向けた基本計画を



白石川堤防と船岡城址公園を結ぶ船岡駅跨線橋

**答** 町の政策提案で、国の提案枠を有効活用して資金を確保するので、財政的に無理はない。

**問** 外国人観光客にわかりやすい標識・看板を。

**答** 外国人にもわかるサイン計画を検討する。

**問** 柴田郵便局前の通りは高齢者の通行が多く、側溝の穴も大きいため大変歩きにくい。早めの整備が必要ではないか。

**答** 大河原土木事務所現地を確認したあと調整する。



有賀光子 議員

**Q** 「弁当の日」の実施を

**A** 柴田小学校の実践を各学校に紹介していきたい



自分でつくったお弁当はおいしいね(柴田小学校 5 年生)

全国で弁当の日を実行している学校が年々増えており、22年5月時点で587校に達している。竹下和男氏が綾南町立滝宮小学校長のときに始めたもので、弁当の日を始めた理由は、親子が一緒に過ごす時間が減っていること、多くの人たちの手で作られていた給食のありがたさを子どもたちが感じずに食べていることがきっかけだった。小学校5・6年生を対象に月1回弁当の日がス

タートした。食卓を囲んで家族全員が感謝の気持ちで食事をおいしくいただくことが、子どもの成長に最も大切。  
**問** 学校教育と家庭教育の橋渡し役として、弁当の日を実施してはどうか。  
**答** 平成21年第4回定例会で、同様の質問をいただき、各学校で検討した。その結果、柴田小学校が22年10月8日に弁当の日を実施した。中には父親の弁当をつくった子どももいた。初めての実施

だったが保護者の協力を得てどの児童も喜んでつくり味わっていたのも一度実施する予定とのこと。  
**問** 柴田小学校が実施したということだが、今後どのように進めていくか。  
**答** 子どもの成長や親子関係の改善、そして基本的生活習慣の改善に役立つものと考えており、今後他の小中学校にも柴田小学校の実践を紹介していきたい。

**問** 町外から本町へは何か所か進入ルートがあるが、桜まつり期間中は案内板だけで目的地に着けるような情報提供が必要と考える。道路標識や案内板などは充分か。  
**答** 村田インターから大河原バイパス経由と、成田地区経由、四日市場の4号バイパス、さくら船岡大橋付近などに、県や国からの許可を得て1カ月ぐらいの期間表示するシステムで、顧客のデー

**Q** 観光振興を明言したが、今までと違う点は



佐久間光洋 議員

**A** まねのできない魅力をおもてなしの心と一緒に提供する

**問** データは毎日パソコンで人数の集計はしている。POSシステムでの男女別などについては、マーケティングという考え方も言われているので、観光物産協会の中で話し合っていないか。  
**答** 一目千本桜は仙南地方の大きな観光資源であるが、これは宮城県の出迎える方法も考えていく。



工事が進む船岡城址公園の園路

源でもある。県からほどのような支援があるのか。  
**答** 桜の木に対しての宮城県の直接的な支援はないが、一目千本桜周辺の草刈りや、町の各種事業について指導、助言はある。  
**問** 駅から船岡城址公園までの道路にのほりを立て道案内としてはどうか。  
**答** 現在の案内の効果は薄いようであれば、華やかに旗を掲げてにぎやかに出迎える方法も考えていく。

## 掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

### 大坂三男 議員

**問** 槻木千間堀踏切は接続する道路の道幅が狭く自動車による対面交差が危険。対策が必要。

**答** 道路の拡幅は規制等で難しい点があるが安全確保の点から地元と一緒に解決策を検討する。

### 舟山 彰 議員

**問** 議会懇談会で「館山に観光物産交流館をつくっても大丈夫か」という町民の声があるがいかん。

**答** 観光物産交流館は、館山の観光資源の魅力と一体となってその効果が発揮される観光施設。

### 佐々木 守 議員

**問** 西船迫6号公園「森づくり、里山づくり」の具体的な計画は。

**答** 12月3日に県へ計画書を提出。来年1月には県のヒアリングが行われ、決定は5月。

**問** 仙南地域職業訓練センターの取得は。

**答** 県に、譲渡にかかる申請を行い、取得時期は平成23年2月、引き渡しは3月予定。

### 白内恵美子 議員

**問** 高齢者が安心して暮らせる住まいが求められている。ケアハウス設置の考えはないか。

**答** 特別養護老人ホームと併設が多いため、町が運営するより社会福祉法人と協議していく。

**問** 貧困に苦しむ子どもを支援するため、早急に「子どもの貧困克服検討会議」の設置を。

**答** 検討会議を設置し、子どもの貧困や生活実態の把握、求めている支援について検証する。

**問** みやぎ県南中核病院の夜間・休日の小児救急外来は軽症患者が多い。受診自粛の要請を。

**答** 96%が軽症者であり、ガイドブック配布や新生児訪問、乳幼児健診時に説明している。

### 広沢 真 議員

**問** 国保法44条に基づく医療機関での窓口負担金の減免制度の改善をできないか。

**答** 国の動向や近隣の動向を見て判断したい。

### 水戸義裕 議員

**問** 災害時の救助を考える時、救助する側とされる側の惨事ストレスという心のケアの対応は。

**答** 心のケアについて、自主防災組織の学習や町の広報誌などで正しい知識の普及に努めたい。

### 安部俊三 議員

**問** 町内小学校における注意欠陥・多動性障害児（ADHD）の対応は。

**答** 小学校に15名在籍。特別支援教育支援員などで学習支援を行っている。

### 星 吉郎 議員

**問** コメ農家の減反で休耕地、耕作放棄地はどのようになっているのか。

**答** 荒れた水田が増えないような方策に取り組んでいく。

**問** 全員協議会では桜連絡橋総事業費の回答がなく、翌日の新聞記事には掲載されていたが。

**答** 過去に広報しばたに掲載した白石川、船岡城址公園回遊ルートの記事を参考にしたと聞いた。

### 佐藤輝雄 議員

**問** 監査の指摘事項は、住民に情報公開、指摘事項も検証すべし。

**答** 広く住民にわかりやすい情報公開を考えたい。指摘事項は総務課が窓口となり年度末報告する。

### 佐久間光洋 議員

**問** 7月実施の地上デジタル化、町内では受信に障害のある地域の対策は万全か。

**答** 共同受信施設組合の設立、中継局の設置、5年間のBSチューナー無償貸与などで対応。

# 常任委員会レポート

各常任委員会は  
年4回各課の仕事を  
調査しています。

## 総務

■ 日時 平成22年11月1日、2日

### ■ 調査内容

- ・ 第3次しばた女性施策推進基本計画に係る策定進捗状況
- ・ 町税及び国民健康保険税の滞納額縮減対策
- ・ 東松島市予約型乗合タクシー（行政視察）

### しばた女性施策推進基本計画策定に若い世代の人選を

《まちづくり政策課》 しばた女性施策推進基本計画の策定にあたっては、事前に調査した町民アンケートを基礎資料として策定すると思われる。アンケートの分析にあたっては、まちづくり政策課で当初に設定した設問項目ばかりではなく、アンケートに寄せられた「自由意見」欄についても、十分な分析を行ったうえで計画策定に心がけること。また、若い世代からの積極的な人選も検討すること。

《税務課》 税の公平性の観点から、税務課職員との共通認識のもと滞納の縮減に努めている。払えない生活困窮者と、払えるのに払わない悪質な滞納者が問題視されており、後者の場合については、差押さえを行うなど確実な税徴収にあたること。また、税込納率の向上及び効率性から、口座振替納付は非常に有効な納付方法であり、更なる勧奨強化を計り、税込納向上につなげるよう努めること。

## 文教厚生

■ 日時 平成22年9月29日、10月1日

### ■ 調査内容

- ・ 「むつみ学園」の管理運営状況
- ・ 学校給食センターの管理運営状況
- ・ スポーツ振興室の事務事業
- ・ 本町の体育館の現状
- ・ 各生涯学習センターの管理状況

### レスパイトサービスの回数増と機能強化を

《子ども家庭課》 むつみ学園は、児童デイサービス施設として、関係者及び地域を含めた幅広い協力を得て運営がなされている。今後は、現在も実施している、学園内で親や家族が利用することのできるレスパイトサービスの回数を増やし、なお一層の機能強化に努めること。

《生涯学習課》(スポーツ振興室) スポーツ施設の効果的な利用促進を図る意味では維持管理は重要であり、職員自身が行う業務と外部に委託すべき業務を精査し、主たる業務であるスポーツ振興事務に集中して取り組む体制を再考すること。

(各生涯学習センター) 施設内整備に対する、日常点検の励行はもちろんのこと、危険な箇所を把握した際には、早急な修繕に心がけること。船泊生涯学習センターホールの上階に設置された器具等を吊るワイヤーは、早期に修繕を実施すること。

## 産業建設

■ 日時 平成22年10月25日

### ■ 調査内容

- ・ 船岡中学校校舎耐震補強・屋内運動場改修工事の進捗状況
- ・ 今年度の降雨による被災状況
- ・ 上半期の上・下水道工事の進捗状況

### 災害復旧に係る補助事業への影響は

《都市建設課》 国の政策方針の転換等により、災害復旧に係る補助事業についても影響が及んでいる。一方で、昨今の気象状況から、町内においても自然災害がいつ発生してもおかしなく、それに伴い、必然的に災害に係る復旧工事が増加すると考えられる。これら復旧工事に対する補助制度への影響についての情報収集に努めるとともに、技術面やコスト面での時宜を得た復旧工事の工法について広く見聞・研鑽すること。

《上下水道課》 上下道の配水管布設工事については、年次計画に基づき計画的に実施されている。計画にあたっては、さまざまな状況を考慮した上で策定していると思われるが、今後、新たな計画を策定及び見直しを行う場合には、地域に偏りのない要素も組み入れた計画策定に心がけて布設替工事を実施すること。

# あなたの一言



かとう るみ さん  
(船岡土手内3丁目在住)

## ●柴田町に住んで良かったことは

10年ほど前に町内で引っ越しをしました。地区の方に良くしていただき、感謝しています。世代を超えて、お付き合いのできる優しい町です。

## ●柴田町の好きなところは

「桜」です。橋から見る風景が大好きです。どこまでも続く一目千本桜に加え、左上に鶴山、右上に蔵王とパノラマな世界がよいです。桜が散って新緑の葉桜も最高です。

## ●町に望むことは

久しぶりに太陽の村に行きましたが、綺麗に整備されています。

裏道も散歩しやすくなっています。町民の声が届いているなと感じました。

もっと散歩してみようと思えるような環境づくりをしてほしいと思います。

## ●議会だよりを読んでいますか。

読んでいます。町の情報収集には一番だから。議員の活動もわかりやすくまとめてあるので、大変読みやすいと思います。

## ●議会・議員に望むことは

現在の議員の方々はいつも笑顔できちんと話を聞いてくれる。柴田町がもっともっと元気になるように、昔と今がうまくコラボできるまちづくりをお願いいたします。

未来へ向けて

## いっしょに勉強しませんか 公開議員研修会

- と き：平成23年2月15日(火)  
午後1時30分～午後3時40分
- 会 場：柴田町保健センター4階会議室
- テーマ：「B級グルメでまちおこし」
- 講 師：新潟大学大学院実務法学研究科教授  
田村 秀 氏
- 対 象：どなたでも参加できます。
- 参加費：無料



## ◆編集後記◆

年が明けて今年最初の議会だより編集作業は1月5日から始まりました。柴田町議会は一般質問の人数も他の自治体に比べて多く、議案の質疑も活発です。その分、議会だよりの内容が多種多様で、記事の取捨選択とページ割など、苦労しながら編集しています。

今回の議会だよりも15人の一般質問と本会議審議の様子が町民の皆さんにわかりやすく読んでいただけるよう苦心しました。議員一人一人の活動が伝わったでしょうか。

議会広報特別委員会の任期は2年、今回で一区切り、次号から新たな編集委員になります。今後もしばた議会だよりのご愛読、そして忌憚のないご意見、ご感想をお願いします。

議会広報特別委員長 広沢 真

## ぜひ、議会の傍聴を!!

第1回定例会は  
**3月7日(月)** 午前9時30分開会予定  
一般質問は  
**3月7日(月)・8日(火)・9日(水)**の予定  
※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

## 町ホームページ 本会議審議等結果を掲載 各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」「議会のうごき」に、委員会・全員協議会の出欠状況もあわせて掲載しています。

柴田町のホームページ  
<http://www.town.shibata.miyagi.jp>